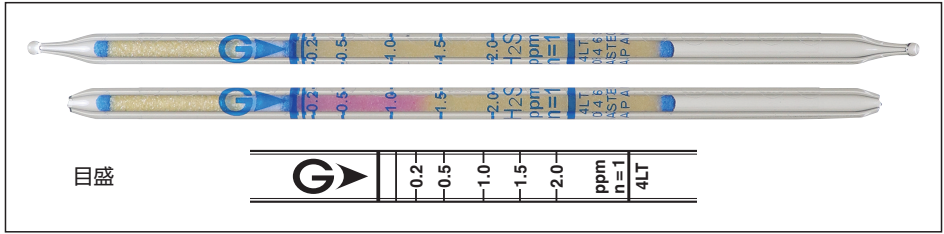


# 硫化水素 H<sub>2</sub>S

No.4LT

Hydrogen sulfide



**仕様** 最低目盛 (0.1ppm) は数値の記載が無く、実線のみで印刷してあります。

測定範囲	0.05 ~ 0.1 ppm	(0.1) ~ 2.0 ppm	2.0 ~ 4.0 ppm
吸引回数	2回 (200mL)	1回(基準) (100mL)	1/2回 (50mL)
係数	1/2	1	2
測定所要時間	3分	1.5分	45秒

検知限度： 0.01 ppm (2回吸引)

変色： 黄色 → 桃色

温・湿度補正： なし

有効期間： 24 か月 冷蔵庫保存 (10℃以下)

変動係数：



(CV : 変動係数 =  $\sigma$  : 標準偏差 ÷ 平均値 × 100)

## 反応原理

硫化水素は試薬と反応して中間生成物を生成し、指示薬は桃色を呈する。

## 干渉ガス

ガス名	共存濃度	干渉	単独の場合
アンモニア	2.3ppm以上	—	変色しない
エチルメルカプタン	0.5ppm以上	+	0.4ppmから桃色に変色する
塩化水素	4.5ppm以上	+	4.0ppmから桃色に変色する
シアン化水素	0.05ppm以上	+	0.05ppmから桃色に変色する
硝酸	6.0ppm以上	+	5.0ppmから桃色に変色する
二酸化イオウ	10倍以上	+(2層変色)	2.0ppmから淡桃色に変色する
二酸化窒素	5倍以上	—	6.5ppmから桃色に変色する
フッ化水素	12.0ppm以上	+	11.0ppmから桃色に変色する

除去剤：塩化水素、フッ化水素、硝酸等の酸性ガスを除去します。ただし、除去剤全層が茶色に変色すると指示値は高めの誤差を生じる。

## 校正用ガス

パーミエーションチューブ法